

安全保障分野における日米宇宙協議
(審議官級会合：概要)

平成28年3月
外務省

3月2日、東京において、安全保障分野における日米宇宙協議の審議官級会合を開催したところ、概要以下のとおり。同協議は、平成22年以降、安全保障の観点から日米間の宇宙協力について議論するために開催しているもの。

1 参加者

日本側：外務省（山田重夫北米局参事官，飯島俊郎総合外交政策局参事官），国家安全保障局（吉田圭秀内閣審議官），内閣府（小宮義則宇宙戦略室長），防衛省（鈴木敦夫防衛政策局次長），内閣府海洋総合政策本部，文部科学省，JAXA

米側：国務省（ローズ国務次官補（軍備管理・検証・遵守担当）），国防省（ロビンソン国防省宇宙政策部長代行，クロージャー戦略軍少将），連邦航空局，在京米大等

2 主なポイント

本会合においては、主に以下について議論し、日米間で更なる連携・協力を進めることで一致した。

(1) 国内における取組

過去1年間の各々の国内政策の関連動向を中心に議論。特に、日本側からは、新宇宙基本計画の工程表見直し（特に国際宇宙ステーション運用延長への参加、準天頂衛星システム（QZSS）、宇宙状況監視（SSA）、海洋状況把握（MDA）、抗たん性等）、衛星リモート・センシング法案等について説明。また、米側から、宇宙戦略ポートフォリオ見直し、宇宙開発関連法等について説明。

(2) 国際的な連携・協力

日米間におけるSSA協力、MDA協力、宇宙アセットの抗たん性向上のための協力等について議論。また、国連を含む多数国間での議論や関連する透明性・信頼醸成措置（TCBM）等について議論。

(了)